

第2 津波避難行動指針の基本的な考え方

1 津波避難の基本方針

津波避難では、時間と余力のある限り、安全な場所をめざすことが基本であり、何よりも最も安全かつ、早く避難できる目標の地点（避難目標地点）への最短コースを避難することが重要です。

避難目標地点に到達後も、周囲の状況を判断して、余力のある場合は津波が終息するまでの間、緊急避難場所・津波避難ビル・津波避難場所等、安全が確保できる場所への避難行動を行うことが必要です。

津波避難の心得

1. 想定にとらわれない

被害想定は安全を保障するものではありません。想定どおりの津波が来るとは限らないことを知ることが命を守る第一歩です。

2. 率先避難をしましょう

だれかが率先して避難することで、周辺の人にも避難するようになり、多くの人がかかります。率先して避難する意識を持ちましょう。

3. あきらめずに避難しましょう

避難をあきらめたり、避難しないことで心配する人が避難をためらったり、助けに來たりして被害にあってしまうかもしれません。他の人のためにもあきらめず避難しましょう。

4. 空振りをおそれない避難をしましょう

なにもなくて良かったと思えるような意識を持ち、危険がありそうな場合はしっかり避難ができるようにしましょう。

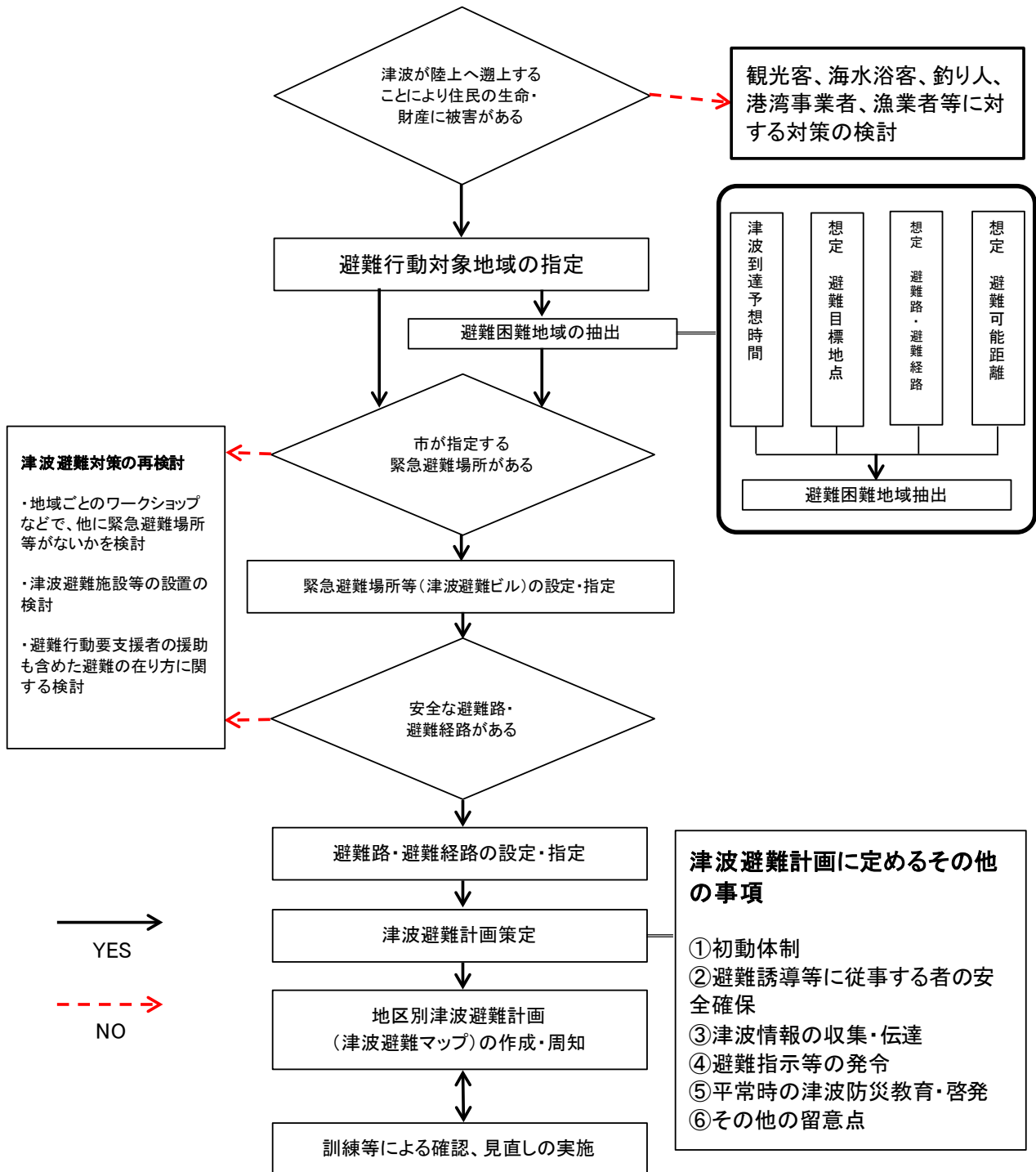
5. 命を守るために最善を尽くしましょう

なによりも命が大切です。命を守るために出来る限りのことを行いましょう。

2 津波避難行動指針の策定方針

津波避難行動指針の策定は『津波避難対策推進マニュアル検討会報告書 市町村における津波避難計画策定指針（総務省消防庁）』及び『愛知県市町村津波避難計画策定指針』に準拠して行います。

図4 津波避難行動指針策定フロー図



『津波避難対策推進マニュアル検討会報告書 市町村における津波避難計画策定指針』を基に作成